腰部神経根ブロック　説明書

《目的》

あなたが現在痛みを感じている、あるいは現在の痛みの原因となっていると考えられる、
背髄から枝分かれした神経の枝（神経根）に局所麻酔薬（痛み止め）を注射し、痛みなど症状の軽減を図ります。

《治療前》

- 初回時は血液検査を行います。
- 治療後に安静時間が必要です。トイレを済ませておいて下さい。

《治療時》

- 皮膚を消毒し、皮膚の麻酔をします。レントゲンに背椎を写しながら針を神経根に近づけます。
- ピリっとひびくことがありますが、動かない様にお気を付け下さい。
- 造影剤を入れて神経根に正確に当たっているかどうか調べることがあります。
- 局所麻酔薬と炎症を抑える薬（少量のステロイド薬など）を注射します。

《治療後》

- 初回時は 30 分間、2 回目からは 20 分間、そのまま処置台で休んでいただきます。
- 寝返りや起立はお控え下さい。また、感染予防のため当日のご入浴はお控え下さい。

《治療後の反応》

- 注射した場所に応じて、手や足がしばらく(時間は人によって異なります)しびれます。
- 治療終了後、何時間か後に、一時的に痛みが強くなることがあります。（跳ね返り現象）
  通常これは一時的なものですので、処方した痛み止めを服用して下さい。

《合併症》合併症はまれですが、主に以下のものがあります。

- くも膜下ブロック：足が全く動かなくなったり感覚が麻痺したりしますが、数時間で元に戻ります。
- 神経穿刺：極ごくまれにしびれや痛みが続くことがあります。
- 硬膜外血腫：極まれに血腫が生じ、神経を圧迫することで手や足が麻痺することがあります。
  場合により外科処置が必要となります。
- 感染：極まれに硬膜外膿瘍を生じ、手や足が麻痺することがあります。場合により外科処置が必要となります。

《同意の撤回》

- 神経根ブロックの同意を撤回する場合
  いったん同意書を提出しても、神経根ブロックを行うまで治療を受けることを止めることができます。
  その際は、ご遠慮なくその旨をクリニックまでご連絡下さい。

※帰宅後に、もし気分が悪くなったり、痛みやしびれが続いて心配なことがありましたら、
いつでもクリニックまでご相談下さい。

おち内科・ペインクリニック

☎ 089-960-1218